

教科等	平成18年度授業改善点
国語科	書く力を向上させるために、200字程度の小作文を書く機会を多くもつ。また、テストの問題にあった解答の書き方を指導する。文章を書く時は、辞書をひかせ漢字を書く努力をさせる。また書いた作文を発表させるなどして話す力も養わせる。
社会科	パワーアップタイムの時間に基礎・基本の確実な定着を図りつつ、他の事象とのつながりも踏まえながら、自分の生活に照らし合わせた応用的な学習を大切にしていく。
数学科	筋道・ものの考え方を重視した授業を行う。又、パワーアップタイムの時間に、見方・考え方の問題に取り組み、考え・問題文を読み取る力を育てる。
理科	視聴覚機器の活用、身近な材料を利用した実験の工夫等により、興味・関心を喚起し、不足しがちな理科的体験を補い、科学的思考の発達を促す。基礎学力の向上のためには必要に応じてドリル学習による基礎知識の定着を図る。また科学的な推論、分類、演繹を行う力をつけるためにモデルを利用した演示実験、解説を活用する。
英語科	理解力、特に聞くこと的能力を上げるため、リスニングテストの回数を増やし、都立入試のリスニングに対応できるよう力をつける。
音楽科	音楽に親しみ、自ら進んで音楽表現が出来る力を高める。歌唱では、各パートごとの音取りを重点としたハーモニー作り。器楽では基礎的な演奏が出来るための反復練習。親しみやすい曲を発表。鑑賞では、世界各国のさまざまな曲の解説をし、幅広いジャンルの音楽に興味をもたせる。
美術科	発想や構想の段階で、自由な発想で、のびのびと取り組ませる。作品をどのように完成させるのかをしっかりと考えさせる。又、意欲や関心を高めさせるために制作工程、技術的な難易度を考慮し、達成感を味わえるような題材を設定するように努める。
技術 ・ 家庭科	(技術) 実践的、体験的な授業の組み立てと計画を行い、ものづくりと情報の両分野の基礎・基本の学習に取り組む。 (家庭) 各分野で興味・関心が持てるように、身近で新しい情報を取り上げながら知識理解を深める。調理実習、被服実習、保育体験などの体験学習を通して、日常生活に役立つ基本的な能力を身につける。
保健 ・ 体育科	運動の楽しさや喜びを味わうため、主体的にかかわれる能力を高める。基礎・基本を大切にし、実践的技術の向上を目指す保健分野について、ライフスタイルにあわせ、より健康的な生活を送れるよう、体験的な授業を目指す。
総合	内容を厳選し、個に応じた指導をする。事前・事後の調べ学習・体験学習及び発表等々を通して、生涯にわたる自己表現の能力や学習への意欲を持たせる。小中学校の連携を強め、生徒の主体的な学習態度を継続的に育成するよう指導する。